

通所サービス Topics



IGLグループで唯一のデイケア「ベルローゼデイケア」

とにかく、運動をする場所

全員での全体体操を午前・午後行います。個人が自発的に
行う運動とリハビリ専門職による個別リハビリを行っています。



とにかく、色々な人が集まる場所

要支援1から要介護5の方
まで利用されています。大型車
両や特殊浴槽があり、在宅で
の生活を支えることを使命にし
ています。



とにかく、小さなチャレンジがたくさんある場所

フロアの中に、言葉のクイズや背伸ばしポイント、歩行ポイ
ントなど様々なチャレンジがあります。ご自身の為のチャレンジを
ご用意しています。

2023年7月から全員での音
読を始めました。1か月単位で
メニューが変わります。



とにかく、職員が元気な場所

介護・看護・リハビリの三
職種一体で皆様を支援します。
ご利用者さまの状態は様々。
しっかり向き合いその方のベス
トを目指します。



訪問サービス Topics



笑顔と安心を届ける訪問看護「IGL訪問看護ステーション」 どうぞよろしくお願ひします!

医療機関との連携

基幹病院、地域のクリニック
から指示を受け、看護師や
リハビリ職員が訪問します。主
治医と連携し、生活の視点か
ら療養を支えます。



安心の対応力!

0歳から100歳を超え
る方まで、どんな病気で
も対応します!
必要に応じて看護だけ
でなくリハビリも受けられ
ます。



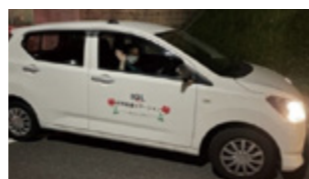
24時間365日サポートします

ご自宅で人工呼吸器や酸素
療法も対応できます。
自宅で点滴や注射も出来ま
す。休日や夜間でも、看護師
がサポートします!



頼れる連携能力!

医療機関だけでなく、ケア
マネさんやヘルパーさん、デ
イケアやショートステイ先、学
校や療育センター、様々な機
関と連携しています!



科学的根拠に基づく癌予防

クリニック アルペンローゼ
医師 江藤 高陽 先生



日本人は、死ぬまでに二人に一人が、癌に罹患すると言われている。2021年の癌死亡数は381,505人で、全死亡数の26.5%を占め、この41年間続けて第1位を独占している。第2位は心疾患、第3位は脳血管疾患を抜いて老衰である。

癌の要因

日本人における癌の要因として、男女共に喫煙・感染・飲酒
が上位3位を占める。

特に、喫煙は、非喫煙者に対し発癌リスクが1.5倍、肺癌による
死亡率は男性で4.65倍、女性でも3.75倍と高値である。受動喫
煙でも発がんリスクは上昇する。喫煙は、肺癌だけではなく、食道癌・膵臓癌・胃癌・
膀胱癌なども発症する。また肺組織が破壊され、常時酸素吸入を要することもある。
感染も発癌の原因となる。B型およびC型肝炎ウイルスは肝臓癌、ピロリ菌は胃癌、
ヒトパピローマウイルスは子宮頸癌の原因となる。感染防止の対処方法は確立して
おり、予防にはワクチンがあり、治療薬もある。
飲酒は食道癌や大腸癌と強い相関関係があり、女性では乳癌リスクが上がる。
塩分の取りすぎは、特に男性で胃癌のリスクが高い。
熱いものが好きな人は食道癌のリスクが上がると言われている。
身体活動量が高い男性は大腸癌や肝臓癌・膵臓癌のリスクが下がる、女性は胃癌
のリスクが下がると言われている。



がんになる確率を減らすために

がんになる確率を減らすために、以下の5つの健康
習慣の実践が勧められている。

①禁煙 ②節酒 ③食生活の見直し
④身体を動かす ⑤適性体重の維持 である。
何もしないあるいは1つだけ実践した場合に比べ、2つ
実践でがんになる確率が男女ともに14%減少、3つ実
践で男性28%、女性27%減少、4つ実践で男性39%、
女性32%減少、5つすべて実践する事により男性で
43%、女性で39%減少することが分かった。
癌予防のためにいかに生活習慣を改めることが重要
であるかが良くわかる。
今からでも遅くない、健康な生活を送るために若いうちから生活習慣
を改めましょう。



教会から「愛の手紙」

地球沸騰化!

広島福音教会牧師
加藤 望 先生

今年の夏は、今までになく蒸し暑く感じましたね。外に出るとムツ
とした空気に襲われ、なんだかサウナに入るように感じる時もあり
ました。台風のおかげで湿った南風が吹き込み、日本海側では連日のフェーン現象。新潟や山形、秋田で連日38度、39度
など信じられません。私は7月末に札幌に行ったのですが、連日
30度越えて、夜も25度と熱帯夜。北国の札幌で、なんでこんなに蒸し暑い!? と叫びたくなりました。地元の人も、こんなことは今までなかったと言っていました。

世界に目を転じると、ギリシャ、スペイン、ポルトガルでは連日の猛暑で気温が40度越え。山火事も発生しています。けれどもフランスでは連日の大雨で、気温も下がっているそうで、何と11月並みの寒さだとか。偏西風が蛇行して、隣同士の国で熱波と寒波が同居している状況です。正に異常気象ですが、これが毎年のごととなるので、もう異常とは呼ばず、「ニューノーマル(新たな正常)」と呼ぶのだとか。

国連のグテーレス事務総長が、「地球は新たな段階に入った。もう地球温暖化ではなく、地球沸騰化だ」と言いましたね。修復不可能なほど温暖化が進み、とうとう大気も海もグツグツと沸騰

しているというのです。そんなイメージなど想像したくもありませんが、そういう危機的段階に入ってしまったようです。

そしてこの夏、最も私達を震撼とさせるニュースが飛び込んできました。アラスカで氷河湖が決壊し、大量の氷の欠片と水が溢れ出して下流の町を襲い、家々が次々と流されたのです!シベリアではツンドラ(永久凍土)が解けて、あちらこちらで巨大な穴が開いています。地中の氷が解けて表土が陥没したのです。そこからメタンガスが噴出し、高濃度の二酸化炭素が排出されています。ますます温暖化、否、沸騰化が進む悪循環です。そして永久凍土が解けることで、凍ったマンモスなどが転がり出し、未知の細菌やウイルスが放出されているとか。新型コロナのような未知の感染症が次々に起こってくるのかと思うと、背筋が凍る思いです。

神よ、憐れみたまえ!と祈るのみです。同時に、神が造られた被造物を治めるように命じられた私たち人類の使命を、改めて自覚する必要があります。「海の魚と、空の鳥と、地に動くすべての生き物とを治めよ」(創世記 1:28)。英知を集め、国同士が協力し合い、人間の活動を抑制し、自然を破壊するのではなく、良く管理し治めていくことこそ、人類に託された最重要使命なのです。

